



未来へつなぐ

Vol.
163

文／本間 吾里砂

持続的な線路の維持のため「線路集中メンテナンス日」を設定
重機械を用いた効率的な修繕工事を実現

日中の列車を運休し 線路の集中修繕工事を実施

JR北海道は、設備の老朽化が進む一方、保線作業員の確保が難しい状況にあることを踏まえ、「線路集中メンテナンス日」を設定しました。これは、日中時間帯の列車を運休することとまとまった時間を確保し、効率的に線路の修繕工事を進めるための取り組みです。対象となるのは列車の運行本数が比較的少ない区間で、初年度の二〇二九年度は

釧網線^{せんもう}で老朽化した木製マクラギの交換作業に着手しまし

マクラギ交換作業
(釧網線 清里町駅～中斜里駅間)

た。続いて二〇二〇年度は釧網線のほか宗谷線、室蘭線へと拡大し、二〇二二年度は石北線、釧網線、二〇二三年度は石北線、釧網線、日高線でそれぞれ実施しています。

二〇二三年度についても、石北線、釧網線、日高線で木製マクラギの交換作業を行う計画です。日程は石北線の遠軽

駅～西留辺蘂^{るべく}駅間が九月二五日(月)～二九日(金)と二〇月二日(月)～六日(金)で、時間は午前十二時頃～午後六時三〇分頃。遠軽駅～北見駅間で「特別快速きたみ」ほか全六本を運休または部分運休して実施します。次に釧網線の知床斜里駅～網走駅間は、二〇月二六日(月)～二〇日(金)、二〇月二三日(月)～二七日(金)で、時間は午前八時三〇分頃～午後四時頃。「快速しれとこ摩周号」ほか全四本を部分運休して実施します。最後に

日高線の苫小牧駅～鶴川駅間は、十二月六日(月)～一〇日(金)で、時間は午前九時頃～午後五時頃。普通列車六本を全区間運休して実施します。

列車本数の多い線区は 夜間時間帯に実施

二〇二二年度からは日中時間帯の列車本数が多い室蘭線の長万部駅～東室蘭駅間で、夜間時間帯の列車を運休して修繕工事に取り組みます。二〇二三年度は、七月三〇日、八月六日、一〇月八日、二五日、二三日、二九日と、昨年



道床バラスト交換作業(室蘭線 稀府駅)

同様、すべて日曜日に設定。いづれも、午後八時～九時台の普通列車三本を全区間運休し、午後八時三〇分頃～午前一時三〇分頃に、道床バラスト(線路の敷石)やレールの交換作業を行う計画です。

なお、各修繕工事において運休・部分運休となる列車は、バスによる代行輸送を実施します。

これまで、線路の修繕工事は人力施工が主体でしたが、連続して作業に取り組めるようになったことで、重機械を使用した施工が可能となり、作業効率が格段にアップ。限られた人数でより多くの作業をこなせるようになったことは、将来的な労働人口減少への備えともなります。また、日中時間帯の修繕工事については、視認性の高い環境の中で作業ができるようになり、安全性の向上にもつながっています。①